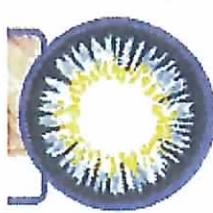
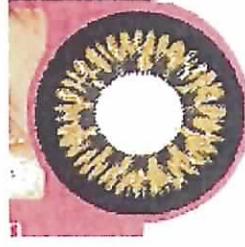
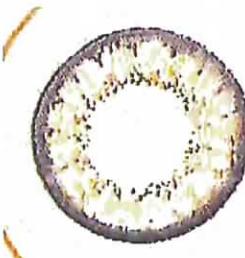
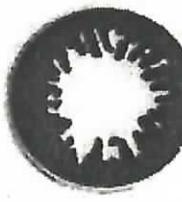
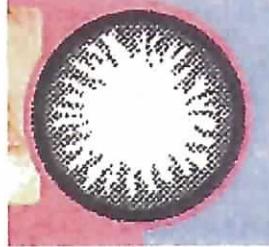


商品比較表

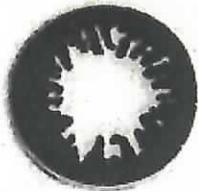
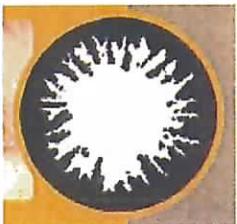
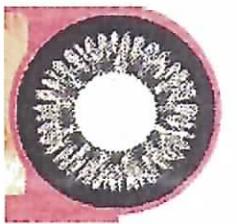
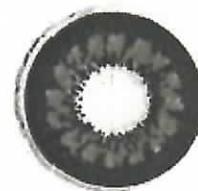
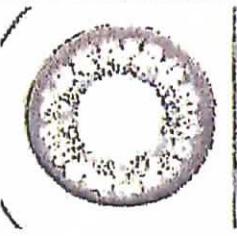
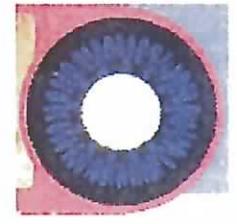
A~Iは、アンケートで使用した記号

本件物件	乙号証からの抜粋図	乙号証該当商品実物
<本件物件 1> A 	 BT02「Brown」 <G&G 社商品①>	 B
<本件物件 1> A 	 BT03「Brown」 <G&G 社商品①>	 C
<本件物件 2> 	 BT02「Gray」 <G&G 社商品①>	未入手
<本件物件 2> 	 BT03「Gray」 <G&G 社商品①>	未入手
<本件物件 3> 	 BT02「Sky Blue」 <G&G 社商品①>	未入手

商品比較表

	 BT03 [Sky Blue] <G&G 社商品①>	未入手
	 I.fax [Brown] <G&G 社商品②>	 E
	 tutti Circle [BROWN] <BECON 社商品>	 F
	 I.fax [Ring] <G&G 社商品③>	 H

商品比較表

	 BT II「Black」 <G&G 社商品④>	I
	 I.fax「Black」 <G&G 社商品②>	未入手
	 I.fax「Green」 <G&G 社商品②>	未入手
	 tutti Circle「GRAY」 BESCON 社商品	未入手
	 I.fax「Blue Black」 <G&G 社商品②>	未入手

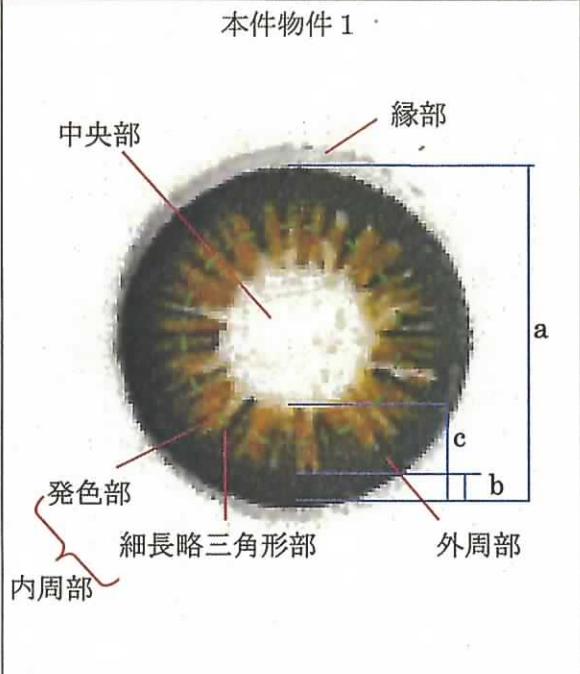
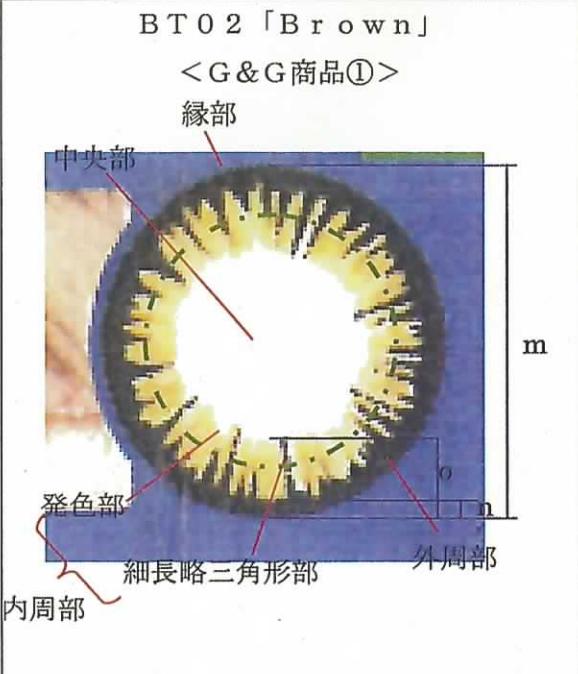
商品比較表

	 <p>tutti Circle「BLUE」 <BECON 社商品></p>	未入手
---	---	-----

)

)

商品比較表

本件物件1	B T O 2 「B r o w n」 < G & G 商品① >
 <p>《基本的構成態様》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体が球面体の一部を平面によって切り取った透光性を有する曲面体の中心点を囲む透明色の小円形である「中央部」 ②上記曲面体の最外縁を略一定幅の細幅帯状に透明色で縁取る「縁部」 ③縁部の隣接内側において濃色で帯状に模様が施された「外周部」 ④外周部の内側において、二色の模様を有する「内周部」 	 <p>《基本的構成態様》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体が球面体の一部を平面によって切り取った透光性を有する曲面体の中心点を囲む透明色の小円形である「中央部」 ②上記曲面体の最外縁を略一定幅の細幅帯状に透明色で縁取る「縁部」 ③縁部の隣接内側において濃色で帯状に模様が施された「外周部」 ④外周部の内側において、二色の模様を有する「内周部」
<p>《具体的構成態様》</p> <p>(1) 外周部</p> <p>a 太さ</p> <p>縁部を除いた外周部の直径を a とし、外周部の黒色が濃い箇所の平均の太さを b とした場合、外周部の全体に占める割合 b/a は、約 9 % となる。よって、外周部の太さに関して、太めの印象を与える。</p> <p>b 模様</p>	<p>《具体的構成態様》</p> <p>(1) 外周部</p> <p>a 太さ</p> <p>縁部を除いた外周部の直径を m とし、外周部の黒色が濃い箇所の平均の太さを n とした場合、外周部の全体に占める割合 n/m は、約 5 % となる。よって、外周部の太さに関して、細めの印象を与える。</p> <p>b 模様</p>

商品比較表

<p>外周部の全体は、ほぼ黒色で配色されている。</p> <p>(2) 内周部</p> <p>a 構成</p> <p>内周部は、外周部と同様色によって中央部に向かって線状かつ放射状に延びている細長略三角形部と、細長略三角形部の間で<u>比較的濃いブラウン色</u>で色づけされている発色部とからなる。</p> <p>b 模様</p> <p>内周部では、細長略三角形部が外周部から分離することなく、自然な状態で中央部に向かって、長短合わせて<u>約45個</u>延びている。</p> <p>発色部の中間（上図の緑色の円形点線）から中央部付近まで伸びている比較的長い細長略三角形部は、<u>約25個</u>である。よって、比較的長い細長略三角形部の割合は、<u>$25/45 = 約56\%$</u>である。また、<u>所々、太めの細長略三角形部が見受けられている</u>。これにより、内周部において、細長略三角形部は、<u>密に設け</u>されている印象を与える。</p> <p>細長略三角形部は、黒色であり、発色部が<u>比較的濃いブラウン色</u>であるため、<u>黒色がブラウン色にとけ込むような印象を与え、黒色とブラウン色とが一体となる模様としての印象を与える</u>。</p> <p>c 太さ</p> <p>外周部と内周部とを合わせた太さをcとした場合、<u>c/a</u>は、<u>約29%</u>である。すなわち、<u>内周部は、眼球の黒目部分のぎりぎりまで設けられている</u>。</p>	<p>外周部の全体は、ほぼ黒色で配色されている。</p> <p>(2) 内周部</p> <p>a 構成</p> <p>内周部は、外周部と同様色によって中央部に向かって線状かつ放射状に延びている細長略三角形部と、細長略三角形部の間で<u>比較的薄く黄みがかったブラウン色</u>で色づけされている発色部とからなる。</p> <p>b 模様</p> <p>内周部では、細長略三角形部が外周部から分離することなく、自然な状態で中央部に向かって、長短合わせて<u>約48個</u>延びている。</p> <p>発色部の中間（上図の緑色の円形点線）から中央部付近まで伸びている比較的長い細長略三角形部は、<u>約21個</u>である。よって、比較的長い細長略三角形部の割合は、<u>$21/48 = 約44\%$</u>である。<u>細長略三角形部の太さは、それぞれ細く、どちらかというと、細長略三角形部は、線状に近い形状である</u>。これによって、内周部において、細長略三角形部は、<u>疎に設け</u>されている印象を与える。</p> <p>細長略三角形部は、黒色であり、発色部が<u>比較的薄く黄みがかったブラウン色</u>である。<u>したがって、黒色の方がよく目立ち、比較的薄く黄みがかったブラウン色は、背景色としてのみ機能しているとの印象を与え、黒色部分のみが模様としての印象を与える</u>。</p> <p>c 太さ</p> <p>外周部と内周部とを合わせた太さをoとした場合、<u>o/m</u>は、<u>約22%</u>である。</p>
--	---